

NSCAジャパン 南関東地域ディレクターセミナー 2018年9月2日(日)

時間	14:00~16:00 (13:30~受付)
会場	NSCAジャパン Human Performance Center (千葉県流山市前平井85)
内容	<p>【講義】14:00~16:00 パラアスリートに対するS&C</p> <p>パラリンピック種目となっているパラスポーツの競技レベルは年々高度化の一途をたどっており、パラアスリートはより高いレベルの身体能力が求められるようになってきています。それに伴い日本国内のパラアスリートも東京パラリンピックに向けて身体能力の強化が課題となってきており、パラアスリートに対応できるS&C専門職のニーズは高まっていると言えるでしょう。本講義では特にパラアスリートへのサポート経験がないS&C専門職の方々に、パラアスリートへの実際のS&Cサポートにおいて留意する点などの情報を、実際に行っているサポート事例の紹介を中心としながら紹介していきます。</p> <p>参考文献 1) James B. Wise. パラリンピックへの道: 成功のためのバックアップ. NSCA Japan Journal. 5:6, 10-14. 1998. 2) Greg E. Bradley-Popovich, Karla R. Abshire, Craig M. Crookston, Greg G. Founfelter. 対麻痺患者のレジスタンストレーニング: 長所とその根拠. NSCA Japan Journal. 8:2, 17-19. 2001. 3) 桜井伸二. 障害者スポーツの競技力向上とアダプテッドスポーツ. ストレngth&コンディショニング. 12:1, 42-45. 2005. 4) Cindy K. Piletic, Tim Piper. 視覚障害者をウエイトルームに迎えるために. ストレngth&コンディショニング. 12:6, 24-30. 2005. 5) Ron Davis, Mike Ferrara, Dan Byrnes. 車椅子レースのストローク. ストレngth&コンディショニング. 14:3, 3-8. 2007. 6) 野口智博. ロンドンパラリンピック競泳メダリストのウエイトルーニング. Strength and Conditioning Journal Japan. 20:3, 2-11. 2013. 7) Wayne L. Westcott, Sheryl A. Rosa. 脊髄損傷. Strength and Conditioning Journal Japan. 20:10, 63-65. 2013. 8) Sheryl A. Rosa, Wayne L. Westcott. 対麻痺および四肢麻痺の脊髄損傷患者のためのフィットネスプログラム作成. Strength and Conditioning Journal Japan. 20:10, 66-68. 2013. 9) 三井利仁. 障がい者スポーツの現状について. Strength and Conditioning Journal Japan. 22:5, 2-7. 2015. 10) Kozub, Francis M, Reed, Joshua D. Preparing Athletes With Intellectual Disabilities for Powerlifting Meets. Strength & Conditioning Journal. 39:6, 76-83. 2017.</p>
講師	 <p>菊地 真也 CSCS, NSCA-CPT, 認定検定員 日本スポーツ振興センター(JSC) ハイパフォーマンスサポート事業(トレーニング)</p>
受講料	<p>会員: 2,160円 一般: 2,592円 ※【レベルⅠ検定+講習】を受ける場合は、会員: 7,776円</p>
定員	25名 (定員に達し次第締め切ります)
キャンセルポリシー	開催1週間前までにご入金がない場合、受付をキャンセルとさせていただきます。開催1週間前を過ぎますと、キャンセルチャージとして受講料の100%を申し受けます。
CEU	0.2(カテゴリーA)

レベルⅠ 検定のご案内 2018年9月2日(日)

時間	10:00~13:00 (9:30~受付)
会場	NSCAジャパン Human Performance Center
検定料	6,480円
定員	20名 ※定員に達し次第、締め切ります。

レベルⅠ 検定

検定種目: ハングクリーン3レップ、バックスクワット(バラレル)およびベンチプレス5レップ
 受検条件: CSCSまたはNSCA-CPT資格保持者で、NSCA会員であること
 検定基準: 「ストレングストレーニング&コンディショニング」および「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識」に記載されている方法に従って、適切なエクササイズテクニックで師範できるかを判定する



CEUは付与されません。



レベルⅠ 検定合格者には、認定証が贈られます。



NSCA資格認定者の方は、午前の「レベルⅠ 検定」も受検できます。